

## 1. 1. 2 キチジ

担当者 調査研究部 城 幹昌

### (1) 目的

オホーツク海において、キチジは重要な漁業資源であるため、漁獲物の生物調査、漁獲統計調査、および漁業実態調査などを行い、資源状態のモニタリングを行った。

### (2) 経過の概要

オホーツク海域のキチジに関して以下の調査を実施した。

#### ア 漁業実態調査

漁業者、オホーツク総合振興局、および漁協に対する聞き取りを行い、キチジ漁業に関する着業隻数などの情報を調べた。

#### イ 漁獲統計調査

農林水産統計年報、北海道水産現勢(2010年については暫定値)により漁獲量を集計した。また、銘柄別漁獲量は、きちじはえなわ(以下、延縄と表記)については荷受伝票および網走漁協から提供を受けた網走地方卸売市場市況から、きちじ刺し網については網走東部地区水産技術普及指導所所有のデータから集計した。

#### ウ 生物調査

網走の延縄漁獲物から年4回、銘柄別に標本を採集し生物測定を行った。測定項目は性別、標準体長(以下、体長)、尾叉長、体重、内臓除去重量、生殖腺の熟度・重量、肝臓重量、胃内容物の種類・重量である。また、耳石の輪紋数の計数も行った。

### (3) 得られた結果

#### ア 漁業実態調査

網走港を根拠とする延縄漁船は例年どおり4つの漁場区分を1週間ごとにローテーションさせる営漁形態をとっていた。なお、流水の影響により漁業が行われなかった1月22日から3月19日の間を除き、漁業は周年行われた。

2010年の網走管内の専業船の着業隻数は、延縄は2010年3月の海明け以降1隻減少して合計3隻となった。きちじ刺し網はウトロの2隻のみであった(表1)。また、羅臼のきちじ刺し網(共同漁業)が根室海峡で操業を行っているが、隻数などの漁業実態は把握していない。

表1 網走管内におけるキチジ漁業等の着業隻数の推移

許可名	年	延縄 網走	きちじ刺し網		合計
			斜里	ウトロ	
	1963	13			13
	1964	7			7
	1965	7			7
	1966	7			7
	1967	7			7
	1968	7			7
	1969	7			7
	1970	5			5
	1971	5			5
	1972	5			5
自由 漁業 等	1973	5			5
	1974	6			6
	1975	6			6
	1976	6			6
	1977	6			6
	1978	6			6
	1979	6			14
	1980	7			18
	1981	7			20
	1982	7			23
	1983	7			22
	1984	7		4	19
	1985	7	1	4	19
1986	7	1	4	18	
承認 漁業	1987	7	1	4	18
	1988	7	1	4	17
	1989	7	1	4	16
	1990	7	1	4	9
	1991	7	1	4	9
	1992	7	1	2	9
	1993	7	1	2	6
	1994	7	1	2	9
知事 許可 漁業	1995	6	1	2	6
	1996	6	1	2	6
	1997	6	1	2	6
	1998	6	1	2	6
	1999	6 <sup>*1</sup>	1	2	6
	2000	4 <sup>*2</sup>	1	2	0
	2001	4	1	2	0
	2002	4	1	2	0
	2003	4	1	2	0
	2004	4	1	2	0
2005	4	1 <sup>*3</sup>	2	0	
2006	4	1	2	0	
2007	4	0 <sup>*4</sup>	2	0	
2008	4	0	2	0	
2009	4	0	2	0	
2010	3	0	2	0	

\*1: 実際には1隻は休漁状態(H11年度事業報告書)。

\*2: 実際にはもう1隻が半年間操業を行った(H12年度事業報告書)。

\*3: 2月以降、着業していなかった。

\*4: 許可は1隻だが、着業していなかった。

#### イ 漁獲統計調査

(ア) オホーツク総合振興局管内の漁獲量と全道比の推移

農林水産統計年報、北海道水産現勢により集計されたオホーツク総合振興局管内（以降、網走管内と呼ぶ）の漁獲量は、1980年代半ばまでは基本的には増加傾向にあったが、それ以降は減少に転じ、2001年には271トンに落ち込んだ(図1、表2)。2002年以降3年連続で漁獲量は増加し、2004年には403トンに達したが、その後漁獲量は再度減少傾向にあり、2010年の網走管内の漁獲量は延縄船の減船の影響もあり203トンとなり3年連続

で過去最低を更新した。

全道に占める網走管内の漁獲量の割合は、1985年ごろまでは漁獲量の変動とほぼ一致していたが、それ以降、漁獲量の減少傾向とは逆に上昇傾向にあり、2003年以降では網走管内の漁獲量が全道の約半分を占めている(図1)。これは、網走管内の漁獲量の減少以上に、他の地域での漁獲量の減少が大きいことを示している。

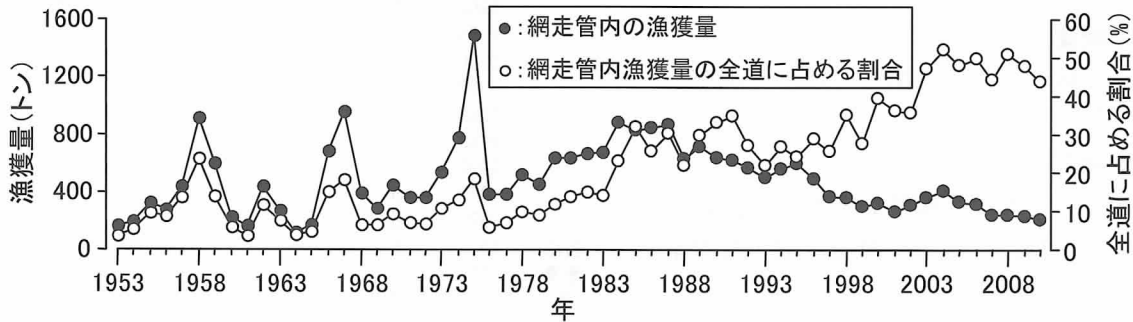


図1 網走管内のキチジ漁獲量および対全道比の推移

表2 網走管内および羅臼におけるキチジの地区別漁法別漁獲量

(単位：トン)

年	延縄			きちじ刺網			その他の刺網			沖底		網走管内合計	延縄羅臼	刺網		根室海峡合計	保稅品網走		
	網走	斜	小計	斜	ウ	小計	斜	ウ	網走	紋別	小計			羅臼	羅臼			羅臼	知
1985	317		175	175					148	179	327	825							
1986	415		269	269	24	0	0	24		136	136	845	10	1,202		1,212	2,056		
1987	476		177	177	59	26		85		126	126	866	128	740		868	1,735		
1988	409	127		127						90	90	625	226	748		974	1,599		
1989	453	96	66	163		33		33		61	61	709	188	371		565	1,274		
1990	420	26	66	93	8	44		52		68	68	634	84	447		532	1,165		
1991	419	53	65	118		45		45		41	41	623	118	378		496	1,120		
1992	343	39	119	158		36		36		26	26	564	163	391		555	1,119		
1993	345	37	79	116	0	0		0		35	35	497	133	504		636	1,133		
1994	328	53	93	145	17	11	0	28		27	27	529	58	395		453	981		
1995	355	49	127	176	33	7	0	40		27	27	598	114	211	87	412	1,010		
1996	264	39	117	156	32	15		47		72	72	539	121	242	74	437	976	82	
1997	194	33	67	100	32	9	1	43		93	93	430	177	189	61	426	856	154	
1998	173	38	66	104	28	15	23	66		20	20	363	179	67	62	307	670	219	
1999	138	28	45	73	29	13	26	69		12	12	292	142	104		247	538	212	
2000	156	36	60	95	40	9	26	7	81	0	5	5	337	67	89		156	493	246
2001	103	24	72	96	40	5	19	3	68		4	4	271	8	91		99	370	233
2002	137	30	76	106	32	5	18	5	60	0	1	1	305	2	103		105	410	135
2003	152	41	89	130	45	6	15	6	73	0	2	2	356	0	134		134	491	187
2004	187	41	102	143	50	3	14	5	72		1	1	403	0	122		123	527	241
2005	165	1	85	87	55	2	12	4	74	0	1	1	326	1	96		97	423	248
2006	153	22	73	96	41	1	13	2	57		1	1	307		69		69	376	205
2007	119		72	72	38	2	8	0	48		0	0	239		59		59	298	106
2008	125		65	65	32	0	13		45	0	0	0	236		55		56	291	93
2009	106		77	77	33	0	14	0	47	0	0	1	231		40		40	271	0
2010	90		67	67	30	0	15		46	0	0	0	203		49		49	252	19

資料：北海道水産現勢、水試調査

## (イ) 地区別・漁業種別漁獲量の推移

北海道水産現勢、および水試調査により得られた地区別漁法別の漁獲量をみると(表 2)、2010 年では網走の延縄船による漁獲量は 90 トンで前年に比べて減少した。ウトロのきちじ刺し網による漁獲量は 67 トンで前年より減少した。1995 年以降、斜里では共同漁業であるその他の刺し網によって、30~50 トンと比較的多くのキチジが漁獲されており、2010 年も 30 トン漁獲されていた。これは、共同漁業権区域内で漁獲されているものと思われる。沖合底びき網によるキチジ漁獲量は 2000 年以降、数トンのレベルに留まっている。根室管内の羅臼における漁獲量は 1986 年には 1,212 トンであったが、その後網走管内への入会いが急速に減ったこともあり、漁獲量は減少を続け 2001 年には 99 トンまで低下した。その後は網走管内と同様に増加し、2003 年には 134 トンに達したが 2004 年には減少に転じた。2009 年には過去最低の 40 トンであったが、2010 年は若干増加して 49 トンであった。オホーツク海ロシア水域の漁獲状況を示すデータとして、網走港における保税(輸入)品の量を表 2 に示した。輸入は、1996 年に開始され、1998 年以降では、輸入許可の関係で 2002 年に 135 トンに減少したのを除いて、200 トン前後の輸入量が維持されてきたが、2007 年から輸入量は減少し始め 2009 年の輸入量は 0 になった。2010 年の輸入量は 19 トンであった。

## (ウ) 延縄漁業によるキチジの漁獲量等

延縄のキチジ漁獲物は、海水氷を敷いた発泡ケースに入れられ、小型魚である「5 kg(ジャミ)」、および「口開」などキズ物以外は 3 kg 入りとなっている。年間を通して「8 入」と「9 入」の銘柄が多く漁獲され、全漁獲物の 42% を占めた(表 3)。2010 年の各銘柄の割合は前年と比べ「6 入」と「8 入」の割合が若干低下し、「M」の割合が若干増加していた。

網走の延縄船 3 隻の月別船別銘柄別漁獲量を表 4 に示した。延縄船の延べ水揚げ日数(出漁回数)は 101~105 回で、2009 年と同程度であった(平成 21 年度事業報告書)。船別年間漁獲量は 24~31 トンで、前年(22~29 トン)と比べて若干増加した。

延縄漁業では、キチジ以外の魚種も多く漁獲された。それらの中で、アカガレイ、カスベ、およびハモの漁獲が年間を通してみられた(表 5)。

表 3 延縄による年別銘柄別漁獲量組成 (%)

年	5 入	6 入	8 入	9 入	M	S	SS	3S	5kg	その他
1993	2.3	8.0	14.0	23.6	30.3	13.8	4.1	1.4	2.2	0.3
1994	2.2	9.0	16.7	25.5	27.7	11.9	3.2	1.2	2.6	0
1995	1.8	8.9	18.5	26.1	27.0	11.7	3.5	0.9	1.5	0.02
1996	1.0	8.0	17.3	23.2	28.6	13.7	4.8	1.5	1.9	0.1
1997	0.2	8.9	17.5	23.6	27.7	13.8	4.6	1.5	2.1	0
1998	0	9.7	16.8	24.3	23.4	12.0	4.2	1.5	2.2	6.0
1999	0	9.9	17.7	24.5	23.2	12.1	4.1	1.4	2.1	5.0
2000	0	8.7	17.4	24.8	24.4	13.0	4.2	1.5	2.0	4.0
2001	0	10.5	18.9	22.2	21.1	12.3	4.5	2.2	2.3	6.0
2002	0	14.0	18.6	23.7	23.8	11.9	3.7	0.7	ND	3.6
2003	0	14.7	21.1	24.8	20.8	9.8	2.9	1.0	0.7	4.2
2004	0	12.0	16.2	23.7	23.8	13.5	5.0	1.1	0.5	4.2
2005	0.2	12.0	17.4	25.2	22.6	10.8	4.1	1.3	0.6	5.8
2006	0	9.4	15.2	22.3	24.3	12.9	5.2	2.1	1.2	7.5
2007	0.2	9.0	15.6	22.2	21.8	12.1	5.5	3.1	1.9	8.7
2008	1.6	14.7	20.3	22.1	18.3	8.4	3.7	2.0	1.3	7.6
2009	0.9	15.4	19.5	22.9	17.8	9.7	3.6	1.7	0.6	7.9
2010	0	12.2	17.7	24.6	21.2	10.8	3.4	0.7	0.2	9.3

※1:「4S」は「5kg」銘柄の 3 kg 詰めであることが分ったため、今年度より「4S」の漁獲量は「5kg」に含めた。

※2:2002 年は「5 kg」のデータが得られなかったため(表中の ND)、「6 尾入~3S」、「その他」による組成。

※3:2001 年以前および 2003 年は A 船のみの組成

※4:2005 年以降は 4 隻分の組成

※5:2002・2004・2006・2008・2009 年は B 船を除く 3 隻分の組成

※6:2010 年は A・C 船分の組成

アブラガレイやサメガレイは、荷受伝票上では、重量が統一されていない箱数で記録されているため、kg 単位での漁獲量は不明であるが、年間を通して多く漁獲されていることがわかる。その他、アイナメ、カジカ、メヌケ、オヒョウ、ギンダラなども漁獲されていた。

ウトロのきちじ刺し網船 2 隻の月別銘柄別漁獲量を表 6 に示した。銘柄「特大」から「小」はサイズ別の銘柄で、サイズに関係なく魚体の状態の良し悪しを基準にし、状態の良い順に区別したものが銘柄「A」から「F」である。近年、サイズ別の銘柄による出荷が減少し、2010 年ではほぼ「特大」のみがサイズ別の銘柄では出荷されていた。また、2009 年ごろから「活〆め」での出荷が増加している。これは単価が比較的低い大型個体を活〆めして出荷することで付加価値の向上を図っているものと思われる。

## ウ 生物調査

2010 年では延縄漁獲物について、1, 5, 6, 9, 12 月にサンプリングを行った。原則として全銘柄 1 箱ずつ抽出したが、1 月は「3S」、5 月には「3S」・

「5 kg」、6 月には「3S」、9 月には「3S」・「5 kg」が漁獲が少なく欠測した。また、12 月には「3S」・「5 kg」にあたる個体が混みになった標本しか得られなかった。

(ア) 銘柄別の平均体長および体重

延縄、およびきちじ刺し網によって漁獲されたキチジの体長および体重の平均値を表 7 に示し

た。これらの値を用いて銘柄別の漁獲尾数および体長階級別の漁獲尾数を推定した。

(イ) 網走のキチジ延縄漁獲物の月別体長組成

表 8 に延縄によって漁獲されたキチジの月別の体長階級別漁獲尾数を示す。年間を通じて、体長 22~23 cm 階級に属する個体が最も多く漁獲されていたことがわかる。

表 4 2010 年における網走の延縄による月別船別銘柄別漁獲量

(単位: kg)

月	船名	水揚日数	5 入り	6 入り	8 入り	9 入り	M	S	SS	3S	5Kg 入	その他	合計
1 月	A	4	0	195	252	333	237	87	15	3	5	121	1,248
	B	4	36	363	708	708	357	126	21	ND	ND	ND	2,319
	C	4	0	144	207	288	213	90	27	9	0	51	1,029
	小計	12	36	702	1,167	1,329	807	303	63	ND	ND	ND	4,596
3 月	A	4	0	90	153	210	222	81	33	9	25	119	942
	B	4	3	159	333	507	294	87	30	ND	ND	ND	1,413
	C	4	0	66	252	429	408	219	69	9	0	153	1,605
	小計	12	3	315	738	1,146	924	387	132	ND	ND	ND	3,960
4 月	A	12	0	480	702	798	621	204	48	6	10	292	3,161
	B	11	0	396	685	816	409	175	51	ND	ND	ND	2,136
	C	12	0	148	440	717	626	383	117	36	0	253	2,720
	小計	35	0	1,024	1,827	2,331	1,656	762	216	ND	ND	ND	8,017
5 月	A	10	0	252	354	507	408	153	57	12	21	253	2,017
	B	8	0	96	360	438	309	114	49	ND	ND	ND	1,366
	C	10	0	94	144	414	342	261	104	27	0	242	1,628
	小計	28	0	442	858	1,359	1,059	528	210	ND	ND	ND	5,011
6 月	A	13	0	522	669	996	786	309	96	9	8	392	3,787
	B	13	0	431	921	1,074	588	207	63	ND	ND	ND	3,284
	C	13	0	199	201	762	675	462	207	90	0	368	2,964
	小計	39	0	1,152	1,791	2,832	2,049	978	366	ND	ND	ND	10,035
7 月	A	13	0	480	732	732	636	240	66	0	0	263	3,149
	B	13	30	236	665	885	454	177	51	ND	ND	ND	2,498
	C	11	0	182	203	618	513	327	111	23	0	257	2,234
	小計	37	30	898	1,600	2,235	1,603	744	228	ND	ND	ND	7,881
8 月	A	11	0	600	816	744	603	246	75	9	5	306	3,404
	B	12	42	535	879	1,137	594	223	45	ND	ND	ND	3,454
	C	10	0	135	252	777	651	447	132	18	0	231	2,642
	小計	33	42	1,270	1,947	2,658	1,848	916	252	ND	ND	ND	9,500
9 月	A	11	0	627	870	654	546	195	45	3	0	231	3,171
	B	11	27	468	774	978	486	150	63	ND	ND	ND	2,946
	C	11	0	108	240	609	582	408	117	0	0	270	2,334
	小計	33	27	1,203	1,884	2,241	1,614	753	225	ND	ND	ND	8,451
10 月	A	11	0	936	1,164	963	825	318	90	18	5	292	4,611
	B	8	15	426	828	1,128	531	147	57	ND	ND	ND	3,132
	C	11	0	162	294	852	777	522	180	27	0	335	3,149
	小計	30	15	1,524	2,286	2,943	2,133	987	327	ND	ND	ND	10,892
11 月	A	8	0	765	945	783	618	246	72	18	10	211	3,668
	B	7	6	120	294	768	366	154	51	ND	ND	ND	1,761
	C	6	0	93	156	552	522	306	93	24	0	149	1,895
	小計	19	6	978	1,395	2,103	1,506	706	216	ND	ND	ND	7,324
12 月	A	8	0	426	606	471	387	141	42	6	5	224	2,308
	B	8	9	165	420	732	230	123	54	ND	ND	ND	1,733
	C	9	0	108	216	525	663	375	117	21	0	167	2,192
	小計	25	9	699	1,242	1,728	1,280	639	213	ND	ND	ND	6,233
2010 年度計	A	105	0	5,373	7,263	7,191	5,889	2,220	639	93	94	2,701	31,463
	B	102	168	3,393	6,867	9,171	4,618	1,685	535	ND	ND	ND	26,437
	C	101	0	1,437	2,605	6,543	5,972	3,800	1,274	284	0	2,474	24,388
総計		308	168	10,203	16,735	22,905	16,479	7,705	2,448	ND	ND	ND	82,288

資料：荷受伝票、網走地方卸売市場市況。B 船：5 入～SS のデータのみ。合計：A および C 船は「5 入～その他」、B 船は「5 入～SS」の合計。したがって、月ごとの 3 隻分の合計は実際の漁獲量よりも B 船の「3S～その他」の分、少なく表記される。ND：データ無し

表 5 2010 年の網走の延縄における主な魚種の月別漁獲量 (A・C 船分)

月	のべ水揚げ 日数	(kg)				(箱数)			
		キチジ	アカ ガレイ	ハモ	カスベ	アブラ ガレイ	サメ ガレイ	スケトウ ダラ	マダラ
1月	16	2,277	266	270	387	10	9	0	0
3月	7	2,547	28	40	136	1	3	0	0
4月	35	5,881	241	95	1,295	27	23	0	0
5月	30	3,644	17	130	1,048	36	26	0	0
6月	36	6,750	0	43	1,370	48	29	1	0
7月	37	5,382	0	98	933	55	23	17	0
8月	32	6,046	50	220	579	62	22	21	0
9月	33	5,504	40	213	480	53	17	147	11
10月	34	7,760	475	249	253	73	13	282	77
11月	27	5,563	781	173	424	60	8	125	75
12月	22	4,500	382	82	816	47	7	37	18
合計	309	55,821	2,280	1,612	7,720	472	180	630	181

資料：荷受伝票

表 6 2010 年のウトロ地区におけるキチジの月別銘柄別漁獲量

月	特大	中	小小	(単位:Kg)							活メ	その他	合計
				A	B	C	D	E	F				
1月	153			95	162	473	817	967	985	503		4,154	
3月	314			158	627	871	543	364	207	369		3,453	
4月	1,141			352	1,287	2,548	2,287	2,253	1,843	1,150		12,859	
5月	634			77	480	1,407	1,701	1,332	1,173	634		7,436	
6月	541			27	328	1,402	1,642	1,089	1,004	812		6,843	
7月	600			87	634	1,675	1,328	948	555	854		6,680	
8月	560		7	52	589	1,825	1,071	873	310	520		5,806	
9月	289			3	436	1,297	862	652	387	324		4,250	
10月	442			88	616	1,371	1,063	837	342	480		5,239	
11月	320			225	873	1,357	931	798	340	526		5,368	
12月	269			202	672	8985	774	945	636	656		5,137	
総計	5,260		7	1,365	6,704	15,210	13,017	11,056	7,780	6,826		67,224	
(割合)	(7.8)		(0.0)	(2.0)	(10.0)	(22.6)	(19.4)	(16.4)	(11.6)	(10.2)			

資料：水試調査によるデータ

表 7 2010 年の生物調査時におけるキチジの平均体長 (cm) および平均体重 (g)

漁業	測定月日		銘柄							
			6入	8入	9入	M	S	2S	3S	5Kg
延縄	1月11日	体長±SD	268±12	254±6	241±6	230±6	215±6	205±6		186±12
		体重±SD	632±21	536±19	467±30	387±29	295±21	260±18		172±34
	5月12日	体長±SD	273±10	257±6	250±4	233±6	215±6	205±7		
		体重±SD	689±21	553±20	473±26	393±39	306±21	248±17		
	6月9日	体長±SD	267±3	261±4	243±5	228±6	220±5	211±7		176±13
		体重±SD	629±33	559±26	465±13	373±22	311±22	272±16		142±31
	9月14日	体長±SD	271±4	258±8	242±5	231±6	219±7	209±5		
		体重±SD	657±68	530±44	443±22	362±20	313±16	264±22		
	12月23日	体長±SD	272±9	255±8	243±5	231±4	218±4	205±5		182±5*
		体重±SD	704±95	520±35	453±25	396±27	315±13	270±20		169±58*

\* 3Sと5kg銘柄サイズの個体が一緒になった標本であった。

最近 10 年間でみても、きちじ延縄漁獲物の体長階級別漁獲尾数のモードは 21~24 cm 階級の範囲にあった。一般的に高豊度年級群が加入すると体長組成中において小型個体が増加するといった現象がみられるが、図 2 をみる限りそういった現象は最近 10 年間みられていない。きちじ延縄は大型

個体を選択的に漁獲する傾向が強く、最小銘柄の「5 kg」でさえ、その平均体長は 170 mm を超えている。したがって、きちじ延縄漁獲物の体長組成からは、当海域におけるきちじの高豊度年級群の発生は把握できない可能性が高い。

表 8 2010 年に延縄で漁獲されたキチジの体長組成 (単位:尾数)

体長階級 (cm)	月												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
10-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14-	0	0	0	7	16	6	0	1	0	1	2	1		35
15-	11	0	50	0	0	0	0	4	0	4	7	4		81
16-	4	0	17	71	157	57	0	15	0	14	27	15		376
17-	19	0	83	28	63	23	0	12	0	11	22	12		274
18-	57	0	221	73	157	74	0	60	12	87	105	46		892
19-	126	0	431	118	205	184	38	131	44	228	228	113		1,845
20-	494	0	684	252	281	430	724	850	565	397	322	191		5,190
21-	1,072	0	975	656	655	1,141	1,302	1,418	1,048	2,344	1,768	1,106		13,485
22-	1,367	0	1,152	4,756	3,422	6,392	2,981	3,059	2,551	2,584	1,893	1,260		31,417
23-	3,012	0	2,120	2,324	1,567	2,925	4,150	4,304	3,679	6,145	4,611	3,096		37,933
24-	2,064	0	1,235	2,989	2,001	3,752	2,851	3,124	2,852	4,660	3,668	2,459		31,654
25-	2,586	0	1,358	2,241	1,257	2,298	1,948	2,186	2,049	2,718	2,138	1,452		22,229
26-	781	0	362	3,111	1,676	3,164	2,554	3,096	3,159	3,375	2,659	1,775		25,713
27-	0	0	0	696	384	760	1,330	1,753	1,763	583	462	280		8,012
28-	497	0	207	0	0	0	0	0	0	0	0	0		740
29-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,167	923	561		2,651
30-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
31-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
32-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
合計	12,089	0	8,894	17,323	11,841	21,206	17,877	20,014	17,722	24,320	18,837	12,370		182,492

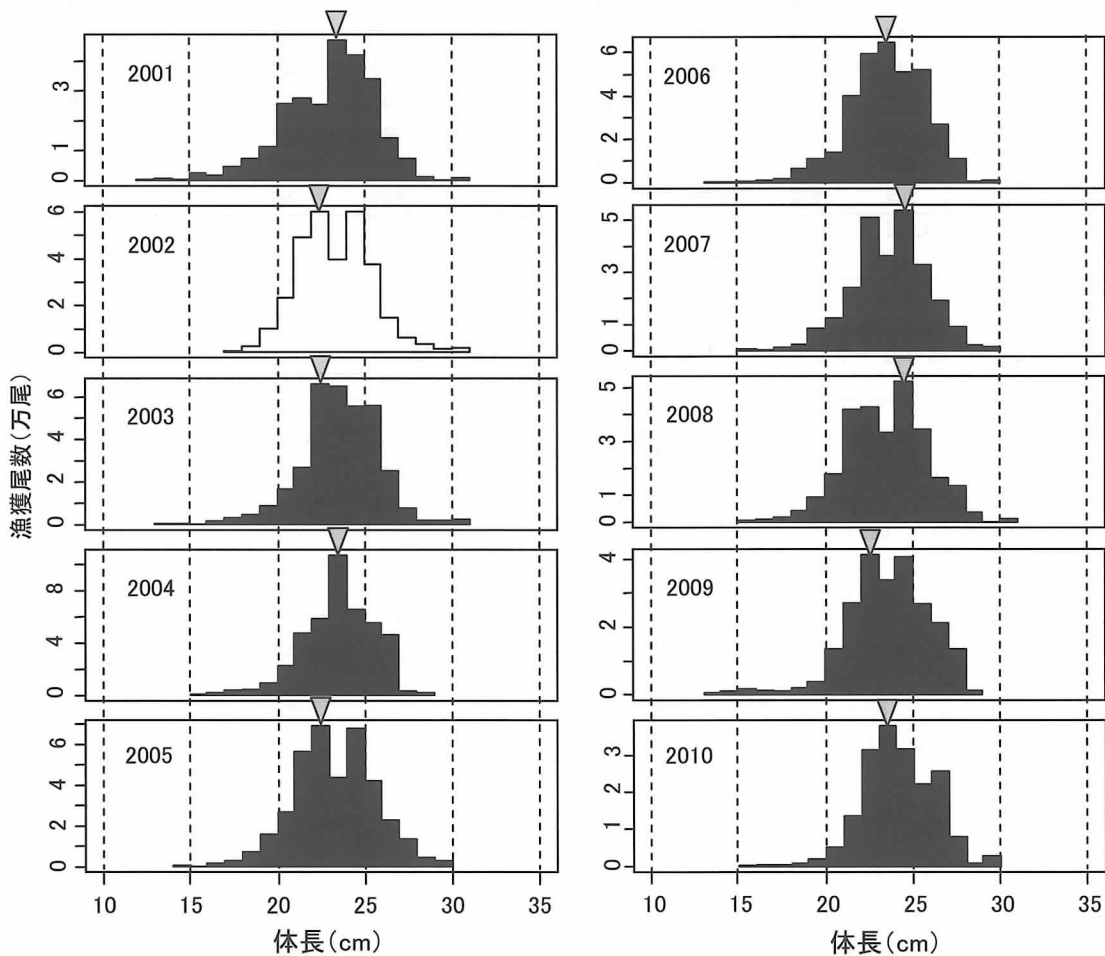


図 2 延縄漁獲物の体長組成の推移 (2002 年は「5 kg」銘柄を含まない組成)